

広島県は本州の西部に位置しており、温暖な気候と瀬戸内海・中国山地という豊かな自然に恵まれていた。また、広島県は世界で最初に原子爆弾が投下された県として、平和への意識が高い。広島市には原爆ドームをはじめ、多くの被爆建物がある。原爆ドームは原子爆弾の惨状を今に伝える記念碑であり、世界遺産に登録されている。



被爆支那近くの出汐交差点は、学校・会社・店舗・アパートなどが密集し、車や人の行きかう音でにぎやかである。一方、被爆支那の通りに入ると、静かな空気に包まれる。通行するだけでも、妙に近寄りたがいない雰囲気がある。

H iroshima P eace W orld



被爆支那は広島市南区出汐、県立工業高校の校舎に隣接する建物で、大日本帝國陸軍の兵員の軍服や軍靴などを製造していたものである。1945年、広島に投下された原子爆弾によって破壊したが、外壁が厚かったこともあり、焼失や倒壊は免れ数箇所として使用され、避難してきた多くの被害者がここで息を引きとったという。爆風により大きくへこんだ宮の鉄製扉は今もなお痛々しく残っており、戦争の記憶を残している。



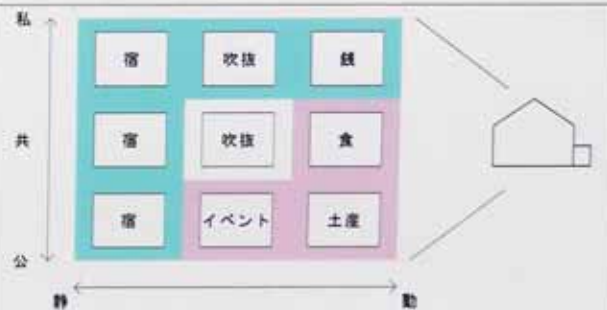
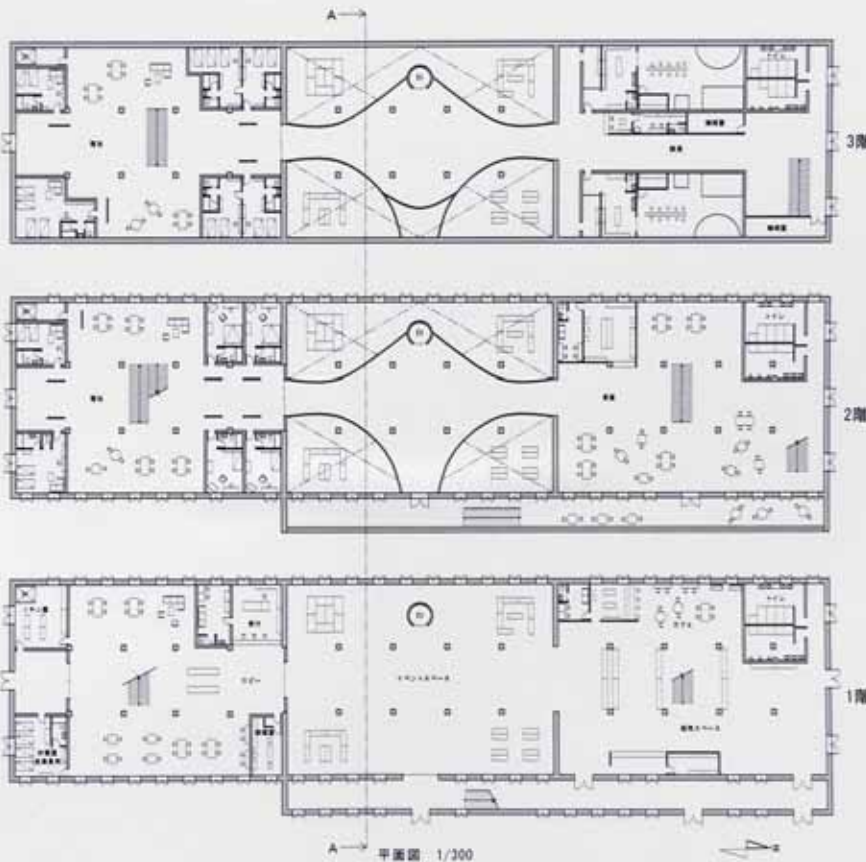
竣工：1913年8月
 戸数：4棟（L字型）
 構造形式：鉄筋コンクリート造、煉瓦張り
 高さ：17m（地上3階建て）
 延床面積：21,700㎡



H P W
 広島 → 平和 ← 世界
 原爆ドーム 観光客
 被爆支那 観光客どころか人通り

トランゼクションすることで...
 ・戦争の惨状を伝える
 ・悲しみを乗り越え次のステップへ
 ・人を呼び込むことで地域活性化!

今のままだと、光が入らず暗闇の中の静かな空間がもたらすが、屋根をガラスにすることで、光を屋根全体から取り入れ、明るい空間にすることができる。吹き抜けから下の階にも光が届く。



1棟を縦に3つ、横に3つで計9つに区切ることができる。南は全層を宿泊施設とし、窓外から来た人々が休めるようにした。真ん中は吹き抜けとし、1階にフロント・ロビー・フリースペースを設け、1階から3階にかけてエレベーターと階段を、2階3階に橋を架けることにより、前後左右の連絡通路としての役割を担う。フリースペースでは、地域に密着したかたちのイベントや展示を行うことができる。

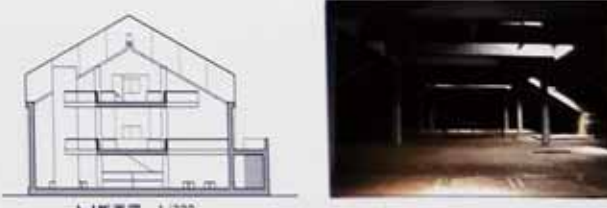
北は1階を特産品コーナーとし、広島の名産を販売することで、広島の魅力を知ってもらえるようにした。2階は大衆食堂とし、宿泊予定がない人や地域の人々も広島食を楽しむようにした。3階は鉄道とし、宿泊した人が部屋の風呂ではなく大きな浴槽でゆっくりしてもらえるようにした。



南側立面図 1/300



西側立面図 1/300



A-A断面図 1/300